

各 位

2018年11月19日

株式会社 山と溪谷社

<http://www.yamakei.co.jp/>

エッセイと漫画で綴られた、小鳥たちの愛らしい会話に悶絶！！

書籍『小鳥草子 コトリノソウシ』刊行！

インプレスグループで山岳・自然分野のメディア事業を手掛ける株式会社山と溪谷社（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：川崎深雪）は、11月16日に『小鳥草子 コトリノソウシ』を刊行しました。



春はさえずり。  
やうやう大きくなりゆく歌声。  
すこし下手もありて  
めぶきたる野山に  
いみじく響きわたる。

—コトリノソウシより—

**【書籍詳細】**

総ページ：160 ページ（4C/1C）・四六判・並

定価：1,300 円＋税

装丁画：中村 文

デザイン：ケルン（宮本麻耶、柴田裕介、岩崎紀子）

「草子（そうし）」とは紙を束ねたもののことをいい、つまり昔の冊子、雑誌のことをいいます。

本書は、小鳥たちの日々のお話を中心に、自然のこと、美術や音楽、工芸などの人の営みなどをまじえて、小鳥の徒然を綴る漫画エッセイ集です。また、鳥類学者・川上和人先生との対談ページや東京大学名誉教授・樋口広芳先生による寄稿文、そして巻末には本書で登場する小鳥たちの写真アルバムも掲載。

小鳥の目線で日々を見れば、世界の見え方もちよっと変わる？ いつもと少し違う目線で自然を見ることで、ほっと癒される一冊です。

スズメ、ウグイス、エナガ、カワセミ、ツバメなど、ユーモアと可愛さ溢れる小鳥たち。都会でも出会えるふつうの小鳥や身近な文鳥、ときには耳目に新しいめずらしい小鳥も登場します。

むかしむかし



すこしむかし



地味ガール

「瑠璃」の名をつけられた小鳥がいる。青色の美しい、コルリ、オオルリ、ルリビタキである。みなおなじヒタキの仲間だけれど、すまいやふるまいはもちろん、その青には、めいめいの個性が発揮されている。

【出会ったときのメモ】

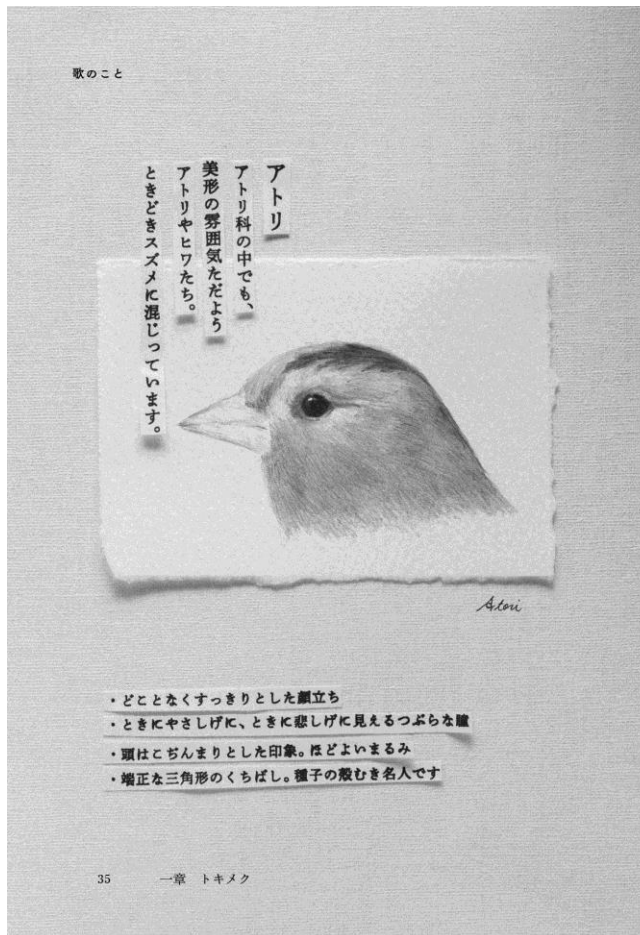
ルリビタキ…ツユクサみたいな明るい青。風にふかれて黄色のわき毛ちらり。杭や小石の上のっかる。地面よりちよつと上が好き。  
 コルリ…北斎の絵に描かれるような青。藍染めみたい。暗いところが好き。長い足で地面をすいすい歩く。  
 オオルリ…その青、渡りの途中で海からとったの？ きらめく瑠璃色。木の上が好き。たまにはおりてきてはくれませぬか。



「瑠璃」とは、もともと仏教のお宝として珍重された鉱物の名である。洋名はラピスラズリ。ウルトラマリンとも呼ばれ、それはやがて、光沢のある深い青を表す色名となった。そんな宝石の名をつけられた、鮮やかなルリの小鳥たち。ところがその色をもつのはみな雄で、雌はことごとく枯れ草のような褐色をしている。いったい女子は遠慮しているのだろうか。あるいは男子めが調子づいているのでは…。

ほんとうのところ、その対照的な色には、男女のきずながしみじみと表れるような気がしている。目を引く者は、目の敵にもされやすい。実際、はなやかな雄のほうが外敵の目につきやすく、命をとられることも多いだろう。にもかかわらず、その羽に磨きかけるのは、雌にえらばれるためにほかならない。雌は、美しい雄が好き。その恋には種の繁栄がかかっている。彼女のために、もつとすてきな色にならなくちゃ。雄の発色は、いろいろな意味で彼らの命運をにぎっている、と言ってよいかもしれない。

はたしてバードウォッチングでは、人気のおとる地味な雌はまわりにとけこみ、肅々と暮らす。雄にちよつと大きな顔をされても、その青を選ぶのは私たち。ひかえめな褐色に毅然とした女子の態度を見るような気がして、いいぞ地味ガール！と、おなじ女子として声援をおくりたい気持ちである。



<構成>

序

あなたはそんなにちいさいの

## 第一章 トキメク

恋して、すずめ／ぼくたちすずめ／すずめ色／パリジャンかく語りき／むかしむかし／すこしむかし  
／丸と四角の30分／小さきもの1／小さきもの2／うぐいすラジオ／うぐいすデビュー／うぐい  
すデビュー前 Count Down 3／小鳥 or フルート？／うぐいすデビュー前 Count Down 2／うぐいす  
デビュー前 Count Down 1

歌のこと

小鳥の歌カフェ

小鳥の肖像—スズメ、アトリ

## 第二章 ヒラメク

青の時間／かわせみダイブ／長いとか短いとか／つつぴー計画／えながのかけ声／尾っぽファンタジ  
ー／バードアイランド—大きくなったり、小さくなったり編／ひばりさん／あるとき、ないとき／バ  
ードアイランド—それでも緑は生まれる編／すずめとひばり／空と雲のトリなのさ／からすのかあさ  
さん／ポジティブからす／ポジティブ翻訳／地味ガール／すずめのユメ／すずめのユウウツ

羽のこと

小鳥ワードローブ

小鳥の肖像—エナガ、ヤマガラ

## 第三章 シミイル

桜のふところ／トリのことわざ1／トリのことわざ2／ハトたち／ひよどりセンパイ 1／ひよどりセ  
ンパイ 2／空飛ぶおんぷ／つばめ、空の手紙／つばめ、空のラブレター／ごめんね文鳥／ソトの世界  
／ブントワネットにはわからない／小鳥せんせい／すきな絵 1／すきな絵 2

渡りのこと

わたりゆく

小鳥の肖像—ツバメ、ヒタキ

## 第四章 タノシム

いいおハシだね／だれがたべた／背くらべ／むっくんのこと／あまい夫婦／ほろにがい夫婦／沈黙の  
とき／COOLなセキレイ 1／COOLなセキレイ 2／富士の道の、そのまた向こうの／ワイルドにあこ  
がれて／対決の日／あのときの小鳥さんですか？／ジョーを見れば／びたきのたきび／小鳥はアレグ  
ロのように／冬のモーメント／すずめチークはいかが

暮らしのこと

コトリノソウシ

羽もいいけど、あしもいい



動かぬ鳥たち

～鳥類学者 川上和人先生にうかがう、鳥の内面のお話～

小鳥アルバム

小鳥日記より（あとがきにかえて）

小鳥と中村文さんと 樋口広芳

<著者プロフィール>

中村 文（なかむら・ふみ）

同志社大学文学部卒業。小鳥や花など自然の風物について独自の視点を持ち、その世界をやわらかに描く。本著では、執筆のほか、漫画やイラスト、写真のすべてを担当した。著書に『ときめく小鳥図鑑』『ときめく花図鑑』（山と溪谷社）がある。

【山と溪谷社】 <https://www.yamakei.co.jp/>

1930年創業。月刊誌『山と溪谷』を中心に、国内外で山岳・自然科学・アウトドア等の分野で出版活動を展開。さらに、自然、環境、ライフスタイル、健康の分野で多くの出版物を展開しています。

【インプレスグループ】 <https://www.impressholdings.com/>

株式会社インプレスホールディングス（本社：東京都千代田区、代表取締役：唐島夏生、証券コード：東証1部9479）を母体とするメディアグループ。「IT」「音楽」「デザイン」「山岳・自然」「旅・鉄道」「学術・理工学」を主要テーマに専門性の高いメディア&サービスおよびソリューション事業を展開しています。さらに、コンテンツビジネスのプラットフォーム開発・運営も手がけています。

以上

---

【本件に関するお問合せ先】

株式会社山と溪谷社 担当：宇川

〒101-0051 東京都千代田区神田神保町1-105 神保町三井ビルディング

TEL03-6744-1900 E-mail: [info@yamakei.co.jp](mailto:info@yamakei.co.jp)

<http://www.yamakei.co.jp/>